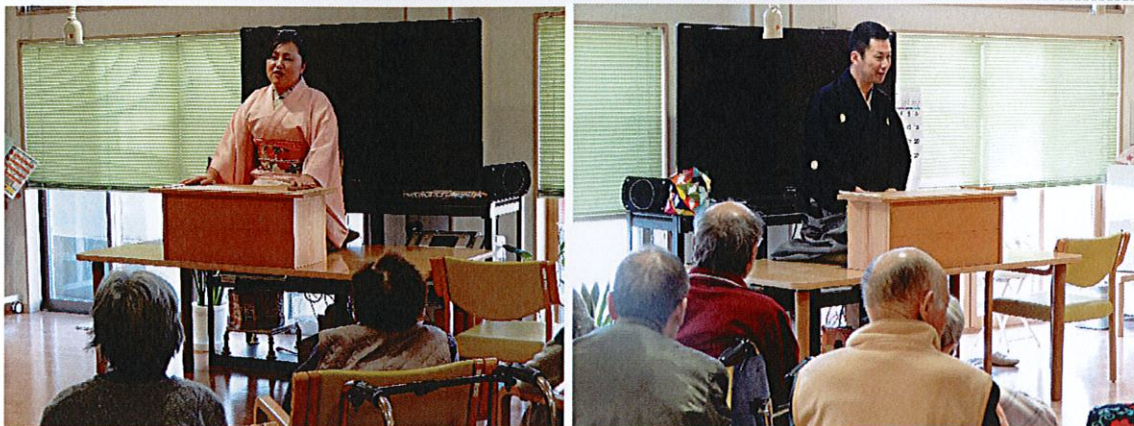


# 講談を楽しみました



南アルプス市塚原出身の二枚目「神田こなぎ」さんと、中野の観光親善大使も務める真打の「神田山緑」師匠の講談を聞きました。こなぎさんは、鰻沢を題材に抜け人になった吉原の女郎の話をして頂き、山緑師匠は清水の次郎長親分の世話になる小政の物語を講談していただきました。講談を生で聞く人も多く、「いい話を聞けました」「やっぱり、実際に聞けるのはいいね！」と、大盛況に終わりました。

SS  
みらい  
新聞

第 53 号  
2018 年 1 月  
発行責任者  
新津 尚

## 七草粥を美味しく食べました



1月7日は、「七草がゆ」を食べて、厄払いと1年間の無病息災をお祈りします。お正月の食事で疲れた胃腸を休め、冬の野菜が少ない時に、ビタミンやミネラルといった不足がちな栄養素を摂るために、古くは平安時代から食べて来たということで、日本人の生活に密着した行事となりました。

SSみらいに入所しているご利用者様も「ここで七草粥が食べれるとは思わなかった」などと言いながら、美味しそうに食べていました。中には、七草の種類を指折り数えている方もいて、楽しい食事になりました。

## 腹話術のケンちゃんがやってきました



南アルプス市山寺に教員を終えた後、ボランティアで腹話術のケンちゃんと共に、介護施設や各団体を回っている飯久保先生に、SSみらいに来ていただきました。

ケンちゃんとのトークを楽しんだり、みんなで歌を歌ったり、人生訓を朗読したりしました。ケンちゃんには、皆さん関心を持ち「かわいいね」と言って、握手をしたり、頭をなでたりして楽しんでいました。

2月にも来て頂くことになりました。皆さん楽しみに待っています。

癒しの写真

